

緑の宝



2019
新年号
No.69



目次

会長挨拶	2
知事挨拶	3
造園技術者を対象としたツリークライミング体験会・見学会	4
松枯れ被害対策における予防剤樹幹注入研修会	6
緑化巡回アドバイザー	7
特別支援学校緑の保全事業	8
第35回全国都市緑化やまぐちフェア	10
みどりのおたより	12
緑の相談所開設	13
建設産業のつどい、まちづくり 2018 ふれあいイベント、知事褒章	14
静岡県景観賞、静岡県さくらの会	15
会員名簿	16



公益社団法人
静岡県造園緑化協会
会長 櫻井 淳

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、皆様には日頃より当協会の運営に対し、特段の御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、ここ数年、日本列島は毎年のように大きな自然災害が発生しており、昨年も、六月の大阪府北部地震、七月の西日本豪雨(平成三十年七月豪雨)、九月の北海道胆振東部地震などにより多数の犠牲者が出ました。本県においても、台風二十四号により広範囲にわたる停電と強風による倒木等の被害が発生し、大きな経済的損失が発生しました。

こうした自然災害にも対応した方策として、近年、自然が持つ防災・減災を始めとする多様な機能を利用することで施設整備や土地利用計画を進めるグリーンインフラ(グリーン・インフラストラクチャー)を国が中心となり推進しています。そして、その基盤は生態系の保全であり、造園業が担う緑の保全は重要

な位置を占めています。

現在、造園業界の活性化が大きな課題となっていますが、グリーンインフラの動きは、国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」に沿うものであり、造園業界が求められる領域は、今後拡大していくと言えます。現状での具体的な動きは、屋上緑化等、大都市圏を中心に進んでいます。今後は地方でのまちづくりにもどう活かしているのか考えていかなければなりません。

そのためには、まずは造園業者としての技術の研鑽や若い世代への伝統的技術の継承を進めることが重要であることから、当協会においても、新たな技術の修得のための技術研修会を開始したところです。今後も地域緑化の一端を担っていただけるよう努力してまいりますので、皆様の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、健やかで幸多き一年となりますよう心より御祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。



静岡県知事

川勝 平太

明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに新しい年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和四十一年の発足以来、五十年以上にわたり緑豊かな住みよい県土づくりに多大な貢献をいただいていることに対して、改めて敬意を表します。東日本大震災の瓦礫撤去支援、浜名湖花博二〇一四への出展、本県との災害時応援協定の締結、特別支援学校の緑化活動支援など、貴協会が精力的に社会貢献活動に取り組んでこられましたことは県といたしましても大変心強く、深く感謝申し上げます。

本県ならではの花と緑が映える魅力ある暮らし空間の創出のためには、緑化ニーズの高まりや、ラグビーワールドカップ二〇一九や、東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック開催による交流人口の拡大などを踏まえた施策を実施していく必要があります。このため、昨年三月、貴協会をはじめ、環境緑化に携わる皆様の御協力をいただき、「花と緑が織り成す美しい庭

園県・しずおか」を基本理念とした、新たな「静岡県緑化推進計画」を策定いたしました。

本計画では、「花と緑を慈しむ文化の創造」、「花と緑による地域の魅力向上」、「社会総がかりの緑化活動」を三本の柱としております。貴協会をはじめ関係団体や市町、県民の皆様と連携し、花と緑によるおもてなし空間や美しい緑のまち並み・いえ並みの整備などを通じて「回遊式庭園」に見立てられる本県の魅力を更に磨き上げ、世界の人々の憧れを呼ぶ美しい「ふじのくに」づくりを進めてまいります。

美しい「ふじのくに」づくりのためには、高度な専門知識と技術を有する貴協会並びに会員の皆様のお力添えが欠かせません。皆様におかれましては、本県の花と緑が織り成す美しい景観づくりを支える存在として、引き続き御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御活躍を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。

造園技術者を対象とした ツリークライミング体験会・見学会



平成三十年十一月二十一日
(水)、静岡市駿河区のしずおか
里山体験学習施設「遊木の森」に
おいて「造園技術者を対象とした
ツリークライミング体験会・見学
会」を開催しました。

○研修のねらい

- ・新たな分野の技術研修として開
催する。
- ・クレーンや高所作業車による従



開会式(桜井会長の開会挨拶)

来の伐採作業とは異なり、大木に
安全に登り剪定伐採等を行い、大
きな枝などを降ろす技術が世界的
に確立されている。技術の習得に
は、多くの研修や実践の積み重ね
が必要となるため、まずは実際に
体験する。

・今後の取組に役立つよう、特に
造園技術への応用に絞った講義内
容とする。



道具や参考図書の説明

○研修の概要

講師はアーボリストトレーニン
グ研究所の渡邊真威氏、片平有信
氏、望月聖己氏の三名です。

班を二班に分け、「ツリークラ
イミング体験」と「チェンソーの
取扱」の二つのメニューを午前と
午後で交代して行いました。

参加者は、実際にツリークライ
ミングを行う体験会に二十二名、
一連の講義や実習を見学する見学
会に九名の計三十一名でした。



サドルの説明(左:渡邊講師、中央:望月講師)

○ツリークライミング体験

・最初に、望月講師から道具(サ
ドル(ハーネス)、ロープ、ハウ
ススリーブ、ヘルメット、カラビ
ナ等)の種類、特徴、取り扱い等
の説明と、必要な参考図書につい
てのアドバイスがありました。

・渡邊講師からはサドルの装着方
法、土木用のハーネスとの違いな
どの補足説明がありました。

・これらの道具を使うことより、
樹上で両手が使え、安全な作業が
出来る事が、高所作業では特に役
立つそうです。



渡邊講師による登り方(DRT)の説明



まず、サドル(ハーネス)を装着します

・最初に、渡邊講師が登り方の見本を見せた後、研修生は各自サドルを装着し、好きな高さのロープを選び、ツリークライミングがスタートしました。

・今回はツリークライミングの基本の二本のロープを使ったDRT(ダブルロープテクニク)で登ります。

・手より足の力で登るのが楽に登るコツのようですが、皆さん要領を掴んですぐに登り切っていました。



高さが異なるロープから好きなものを選びます



ツリークライミングがスタートしました



皆さん要領を掴んでどんどん登っていきます

○チェンソーの取扱
林業家でもある片平講師から、特に造園技術者が参考となるような点に絞って、チェンソーの点検・整備、ソーチェーンの目立ての方法、伐採のコツや注意点などの講義がありました。

○プロのデモンストレーション
講師三名により、枯れた枝を樹上で伐採し、安全に下に降ろす一連の作業が行なわれました。

○質疑応答
研修や道具の価格についての質問が多くありました。



目立て方法の講義(中央:片平講師)



講師三名によるデモンストレーション

松枯れ被害対策における予防剤樹幹注入研修会

平成三十年十一月六日(火)、七日(水)の二日間にわたって、浜松市浜北区根堅の静岡県立森林公園園森の家大会議室において、県森林整備課と当協会の共催で「平成三十年度松枯れ被害対策における予防剤樹幹注入研修会」を開催しました。県、市町の担当者、造園業者など三十四名が参加しました。



研修会の状況【6日】



県森林整備課矢島主査による講義【6日】

初日は、県森林整備課の矢島主査が「松枯れの仕組みと対策」、「樹幹注入剤の正しい施工方法及び県仕様書改正について」の講義を行い、続いて樹幹注入の薬剤メーカー四社(井筒屋化学産業㈱、㈱ニッソーグリーン、㈱理研グリーン、㈱エムシー緑化)からそれぞれの薬剤の特徴などの説明がありました。

二日目は、三班に分かれて、公園内の松に薬剤注入の実習を行いました。



樹木医の大石氏による施工方法の説明【7日】

樹木医の大石春夫氏(南大石造園)から具体的な施工方法や注意点などの指導を受けた後、各研修生が、①樹脂調査によるマツの健康状態把握、②施工ラベルの作成(鉛筆書き)、③ドリルによる穿孔(角度、方向、径、回転方向を確認)、④注入剤の差し込み(穿孔した人が施工)を行いました。

「形成層障害の仕組み」の講義終了後、再び施工箇所へ戻り、注入が完了したことを確認し、最後に癒合剤を塗布して終了です。

研修に参加した協会員二十一名には、協会から修了証を交付しました。



差し込みが終了した注入剤【7日】

緑化巡回アドバイザー

公益財団法人静岡県グリーンバンクから委託を受け、緑化施設を当協会の会員が育成管理巡回指導を行いました。

東部十二箇所、中部九箇所、西部七箇所の合計二十七箇所を、平成三十年九月六日(木)から十九日(水)までの期間で調査しました。芝生だけの場所は二十二箇所、樹木の植栽

も行った箇所は五箇所です。

芝生事業では、半分以上の箇所が良く管理されていましたが、ほとんどの箇所では芝刈り機の刃研ぎが行われていませんでした。

ここ四年間の巡回指導結果では、「やや不良」「不良」の箇所が常に三割程度であり、施設管理者だけではの管理にも限界があることから、今後は新たに緑化コーディネーター等を活用した支援を検討する必要があります。



非常に良く管理された芝生



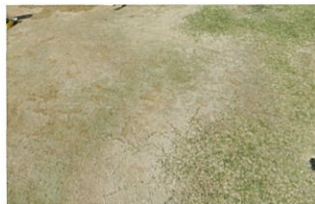
施設管理者の知識が豊富な芝生



各施設とも芝刈り機の刃研ぎが行われていない



土壌に礫が多くツツジの成長が悪い箇所



踏圧が激しく芝生が無くなっている



雑草の除去が必要な芝生

特別支援学校 緑の保全事業

当協会では、平成二十七年分から特別支援学校の緑化をお手伝いしています。

事業は、児童生徒さんと一緒に緑化活動を行う緑化指導事業と、樹木の剪定等を行う協会事業の二つを行っています。

本年度は、東部地区は沼津聴覚特別支援学校、中部地区は中央特別支援学校、西部地区は浜松視覚特別支援学校の三校です。



【中央】飯田さんから植え方の説明を行った

中央特別支援学校

平成三十年九月二十八日(金)、中央特別支援学校で第一回目の活動を実施しました。

作業には、生徒は中等部の一年生七名、先生八名が参加しました。指導は、南飯田庭園 飯田泰季さん、太田さんの二名です。

校舎中庭にテーブルを設置してプランターへの植栽を行いました。



【中央】選んだ花苗をプランターへ植栽した

事前に腐葉土を入れたプランターに、生徒が四種類（ベゴニア、アキランサス、ナデシコ、キバナコスモス）から植えたい花苗を選び、皆さんで丁寧に植栽しました。

最後に飯田さんから設置する場所や水やりなど今後の手入れについての説明がありました。

年明けには高等部の生徒によるプランターへの植栽が予定されています。



【中央】完成したプランター

浜松視覚 特別支援学校

平成三十年十月十二日(金)、浜松視覚特別支援学校で、畑の整備を行いました。

指導は、南昭花園の寺田祐一郎西部支部長、南松月園の倉嶋要介さん、みどり園の高林智宏さん、大村造園建設㈱の中村春香さん、他一名の五名です。



【浜松視覚】全員で石の除去作業を行いました



【浜松視覚】大きなクワでの畝づくりの作業

高等部の生徒四名、先生四名が参加しました。
作業は前日に土の搬入を行った畑で、前半は石の除去、後半はすぐに種が植えられるように、大きなクワを使つての畝(うね)づくりにも挑戦しました。
生徒の皆さんは、搬入した柔らかな土の感触を楽しみながら、熱心に作業に取り組んでいました。



【沼津聴覚】植木屋さんの道具の説明

平成三十年十月三十一日(水)、沼津聴覚特別支援学校でプランターへの花苗の植栽を行いました。
指導は、(株)植正園の半田健治さん、石塚貴晴さん、小沢勝さんの三名です。
参加者は、幼稚園園児六名(三歳児五名、五歳児一名)と父兄の皆さん、先生五名です。

沼津聴覚 特別支援学校



【沼津聴覚】水のやり方の説明

渡辺先生と石塚さんの二人で紙芝居や実際の道具を使って、園児たちに、植木屋さんの仕事の内容やプランターへの花苗の植え方をわかりやすく説明しました。
作業は、それぞれの園児が好きな色の花苗(ヒオウ)を八鉢選び、父兄と一緒に植え付けを行いました。
植栽後、プランターを玄関正面にならべ、自分の植えたプランターに水やりを行いました。



【沼津聴覚】園児と父兄と一緒に植栽



【沼津聴覚】プランターを正面玄関に設置

第三十五回全国都市緑化やまぐちフェア

第三十五回全国都市緑化やまぐちフェア「山口ゆめ花博」は、開催

テーマを「山口から開花する、未来への種まき。百五十年を振り返り、次の百五十年につなぐ」とし、平成三十年九月十四日（金）から十一月四日（日）までの五十二日間、山口きらら博記念公園（山口市阿知須）で開催されました。十月四日（木）に会場を訪れました。

◇各ゾーンの概要◇

会場内は八つのゾーンに分かれています。

○ウェルカムゾーン

メインゲートである「パレットゲート」を中心とするゾーン

○花の谷ゾーン

園内最大の花壇で、八千平方メートルに一一五品種の花が植えられた五つの庭（お出迎えの花庭「おいしい花庭」おもてなしの花庭「散策の花庭」学びの花庭）を巡るゾーン

○庭のパビリオンゾーン

企業や団体等が取り組む緑化活動や多彩な庭づくりの技能を広くPRするために、全国都市緑化フェアで每回行われている庭園出展のゾーン

公募等で参加が決まった三十七団体が、五つのテーマ（造園の技と美の庭「暮らしを彩る庭」「未来提案の庭」「お茶する庭」「自治体出展の庭」）に基づいて庭園を出展しています。



○ウェルカムゾーン パレットで作ったメインゲート



○花の谷ゾーン 野菜やハーブの「おいしい花庭」



○花の谷ゾーン「散策の花庭」



○庭のパビリオンゾーン金賞（国土交通大臣賞）内部



○庭のパビリオンゾーン 金賞（日造協会長賞）



○森のピクニックゾーン 後半はコスモス

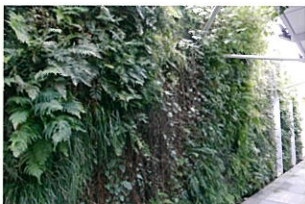
- 森のピクニックゾーン
楽しくて新しいピクニックスタイルを提案したゾーン
- 山の外遊びゾーン
山の地形・環境を利用した新しい「遊具」のゾーン
- 海の外遊びゾーン
2050年の森のゾーン
森の空間を活かした森ならではの遊びを体験出来るゾーン
- 海の大草原ゾーン



○山の外遊びゾーン マリーゴールドへの植替作業



○海の外遊びゾーン 日本一高い木のプランコ



完成後三年だが壁面緑化は維持されている

会場の最寄り駅である新山口駅南北通路の約一〇〇メートルの壁面を、およそ一四〇種類の山口県の植物で彩っています。
世界的に活躍する植物学者のパトリック・ブラン氏のデザインで、県内の植物を採取し、二年間育てた約一万七千株を壁面の特性合成フェルトに一本ずつ植えこみ、二〇一五年に完成しました。

「JR新山口駅南北自由通路
「垂直の庭」



窓との組合せなどデザインにも配慮されている



植物採取からの経緯や植物種を説明したパネル

みどりのおたより (県環境ふれあい課)

静岡県さくらの会(昭和四十一年三月二十八日設立、会長 川勝平太静岡県知事)では、さくらの会会員などからの依頼に応じて、樹木医の資格を持つ専門家を派遣して現地でアドバイザーを行う「さくら相談員派遣事業」を実施しています。

この事業では、地域住民や観光客に名所として親しまれている桜の健全な育成や保護のための助言を始めとして、行政や団体が大規模に実施する、新たな桜の名所の創出や既存の桜の名所再整備計画に対する技術的な提案も行っています。



さくら相談員派遣の様子

平成二十九年度には、六団体から依頼があり、葦山反射炉(伊豆の国市)での桜の維持管理や、駿府城公園(静岡市葵区)の整備計画に対して、市町担当者や管理委託を受けている造園業者等と現地確認や指導を行いました。

葦山反射炉では、テングス病罹患枝の除去や、踏圧による桜の根へのダメージを防ぐための措置をとるよう助言しました。

駿府城公園は、静岡市が桜の名所づくりの基本計画に基づいて、毎年度桜の植栽を進めています。相談員派遣では、事業の進め方に対し、植栽案を複数提示し、今後の植栽事業の参考としてもらえよう提案しました。



駿府城公園の桜



葦山反射炉の桜

平成三十年度は、桜が健全に維持管理されている場所を増やすため、事業の周知に力を入れた結果、十一月時点で、昨年度を上回る七団体から依頼がありました。御殿山(静岡市清水区)や、富士山樹空の森(御殿場市)といった、さくらの会ホームページでも開花情報を提供している名所の桜への派遣依頼があり、樹勢診断や保育技術に関する助言を行っています。

御殿山では、テングス病罹患枝の管理や、剪定は十分に行われていたが、踏圧により土壌が固くなっていたため、排水溝の設置や暗渠工事などによる土壌改良について提案しました。

富士山樹空の森では、施肥などの効果により、桜の樹勢は旺盛でしたが、浅いところが溶岩であり土層が薄く、根が育ちにくい環境のため、養分や酸素を土中に保つよう意識するなど、土壌の状態を良好に保つよう助言しました。

静岡県さくらの会では、さくら相談員派遣事業を通して、行政機関の担当者を中心とする依頼者に様々な助言を行ってきました。会として依頼者にアドバイザーを行うことはできませんが、実際に名所の桜を守り続けるためには、施工、管理について専門的な知見を持つ、造園緑化関係者の御協力が必要不可欠です。本県の魅力ある桜を後世につなげるため、今後とも桜の維持管理等について貴協会の皆様の御理解、御協力をお願いいたします。

緑の相談所開設

十月から十一月にかけて、県内各地の秋の園芸市やみどりまつりなどの会場で緑の相談所を開設し、協会員が緑の相談に応じました。
会場では客土や花の種、緑化のパンフレットを配布しました。
また、竹垣の実演や、モミを使ったエアフレッシュナーづくりも行いました。



三島市(長伏公園) 緑化相談



富士市(中央公園) 緑化相談・花の種配布



沼津市(プラザヴェルデ) 緑化相談・花の種配布



富士宮市(市役所) 緑化相談



富士宮市(市役所) エアフレッシュナーづくり



静岡市(清水日本平運動公園) 緑化相談ほか



磐田市(アミューズ豊田) 緑化相談

建設産業構造 改善推進のつどい

平成三十年九月十四日(金)、静岡市産業交流センターで開催された「平成三十年度建設産業構造改善推進のつどい」での静岡県優秀施工者褒状授与式において、藤原造園の高田和典氏が受賞されました。豊富な造園工事の実務経験を活かした施工管理や、積極的な後輩指導等が評価されました。



中央が藤原造園株の高田和典氏

「まちづくり2018 ふれあいイベント」

平成三十年十月二十一日(日)、静岡市葵区の青葉イベント広場で「静岡県建設産業団体連合会の「まちづくり2018ふれあいイベント」が開催され、当協会も参加しました。

午前と午後の二回「みどりのアスケート」に回答していただいた方全員に、花苗(ガーデンスクランメン、なでしこ、カランコエ)を配布しました。

会場では、他団体による高所作業車やミキサー車の体験乗車、スタンプラリー、風船の配布なども行われました。

◇アンケート集計結果(一部)◇

- あなたの家(庭、ベランダ等)に「花や緑」がありますか？
- ・ある 二二〇名
- ・ない 十名

○「生け垣」のある家をどう思いますか？

- ・好き 一六〇名
- ・きらい 六名
- ・どちらでもない 五四名
- 好きと答えた方、その理由はなんですか？(複数回答)
- ・みどりのある景色が良い 一四六名
- ・「ブロック塀」より安全である 四十名
- ・その他 二七名



アンケートへの回答をお願いします

静岡県技能検定功労者 表彰(知事褒章)

(有)大石造園(藤枝市)

大石 春夫氏

技能検定の推進についてその業績が極めて優良で他の模範になると認められる功労者として、大石春夫氏が表彰されました。

平成三十年十一月二十七日(火)、静岡市清水区の清水テルサで表彰式が行われました。



花苗の配布状況

静岡県景観賞

第十一回静岡県景観賞は、書類

審査平成三十年八月九日と三日間の現地調査九月二十日、十月五日、二十三日で、応募のあった二十五地区から最優秀候補地(六地区)まで絞り込みを行い、十一月十五日(木)、静岡市民文化会館大会議室で行われた取組発表、最終審査において最優秀賞等の各賞が



最優秀賞となった伊豆市の八岳地区

決定しました。

最優秀賞を受賞したのは、「地域で継承！八岳(やつおか)地区の「わさびの郷」づくり」です。

審査委員長からは、清流とわさびの緑と周囲の樹木が日本画のような美しさであると高い評価を受けました。

優秀賞の「奥大井接岨湖周辺」は地域での環境教育の取組についてが、もう一つの優秀賞の「常葉大学静岡草薙キャンパス」は地域との関



候補地区による取組発表

連を考慮した設計についてが、評価されていた受賞です。

奨励賞は、「佐鳴湖公園」、「静岡県富士山世界遺産センター」、「磐田卓球場アリーナ」の三地区でした。

今回は、全ての候補地区がレベルの高い年度となりました。



表彰状の授与

静岡県さくらの会

平成三十年六月二十二日(金)、県庁別館二十一階展望ロビーにおいて、平成三十年度静岡県さくらの会表彰式と第五十三回通常総会が開催されました。

さくら写真コンクールの最優秀賞は神奈川県箱根町の上野祐司様、「静岡県内の桜」部門は静岡市の薄井滋夫様、「富士山と桜」部門は静岡市の望月正晴様が受賞されました。さくら功労者には富士市の「百歩の会」様が受賞されました。



写真コンクールの優秀作品の展示

公益社団法人静岡県造園緑化協会

会員名	所在地	電話番号	会員名	所在地	電話番号
株愛樹園	東伊豆町	0557-23-0648	原田造園株	焼津市	054-624-2610
木村造園株	東伊豆町	0557-23-1635	良知樹園株	焼津市	054-624-1355
株伊豆急ハウジング	伊東市	0557-53-2166	南富士昌造園	焼津市	054-624-4007
株広野園	伊東市	0557-37-3028	南杉村造園	焼津市	054-624-4030
株植源	伊東市	0557-45-0040	南樹見園	焼津市	054-624-8941
藤原造園株	熱海市	0557-81-4240	株中部緑化建設	焼津市	054-629-1610
西村造園株	熱海市	0557-82-7424	南大石造園	藤枝市	054-643-7282
南伊豆植物園	伊豆の国市	0558-76-1564	南太陽造園	藤枝市	054-641-4076
大島造園土木株静岡営業所	裾野市	055-997-2775	株特種東海フォレスト	島田市	0547-46-1551
株富士見園	長泉町	055-986-6567	南岩本造園	吉田町	0548-32-2507
南正翠園	長泉町	055-986-3199	南松浦造園	吉田町	0548-32-8887
株大綱造園	御殿場市	0550-75-7928	株雄樹園	御前崎市	0537-86-2684
株植正園	沼津市	055-921-0945	田旗造園建設株	掛川市	0537-22-5951
株大志建設	沼津市	055-923-1128	株橋樑庭苑	掛川市	0537-24-5577
株翠石園	富士市	0545-71-2236	株三宝園	掛川市	0537-24-4128
株大松園	富士市	0545-52-5220	南小澤造園	掛川市	0537-22-9052
南常翠園	富士市	0545-35-0163	南松月園	森町	0538-48-6431
株望月庭園	富士市	0545-21-5195	南山本造園	袋井市	0538-24-7770
南やまと園芸	富士市	0545-38-1958	株片桐造園建設	袋井市	0538-48-7884
天野園芸株	富士市	0545-81-0655	株ハッ代造園	袋井市	0538-43-4355
株共立	富士市	0545-85-1213	トヨタ緑産株	袋井市	0538-44-0400
南小川造園	富士宮市	0544-24-4533	株庭 仁	磐田市	0538-35-5528
赤池造園株	富士宮市	0544-24-3568	株植 勘	磐田市	0538-34-3030
株佐野緑化	富士宮市	0544-27-2825	株浮月園	磐田市	0538-38-0529
株岳陽グリーン	静岡市清水区	054-385-5034	南永井造園	磐田市	0538-38-0500
南丸福造園土木	静岡市清水区	054-375-2115	南稲垣造園	磐田市	0538-38-1901
源平造園建設株	静岡市清水区	054-366-5525	南松島園	磐田市	0538-38-0790
株小澤造園	静岡市清水区	054-353-3774	南大東園	磐田市	0538-34-4163
駿河緑地造成株	静岡市清水区	054-351-2555	南稲花園	磐田市	0538-55-3392
南森荘造園	静岡市清水区	054-345-3859	南東海ガーデン	磐田市	0538-32-5025
木下造園株	静岡市清水区	054-334-0757	株江間植苗園	浜松市中区	053-471-1727
不二造園土木株	静岡市清水区	054-369-2515	株庭 明	浜松市中区	053-453-3311
春長園緑化株	静岡市葵区	054-246-7512	株庭 勘	浜松市中区	053-455-3980
株ひかり造園	静岡市葵区	054-253-6508	みどり園株	浜松市中区	053-456-1165
株森 造園	静岡市葵区	054-253-4659	南太陽造園土木	浜松市中区	053-455-4007
静岡親業株	静岡市葵区	054-261-2094	株エンター	浜松市東区	053-435-8585
南飯田庭園	静岡市葵区	054-245-0513	株大瀬造園	浜松市東区	053-434-1907
株藤浪造園	静岡市葵区	054-245-9870	大瀬造園建設株	浜松市東区	053-421-1180
株静岡緑地建設	静岡市駿河区	054-669-9113	赤坂産業株	浜松市東区	053-434-4332
株理研グリーン	静岡市駿河区	054-283-5555	大協造園緑化株	浜松市西区	053-592-4500
株西野造園	静岡市駿河区	054-283-3131	ナイス緑地株	浜松市西区	053-485-4631
ソーア造園株	静岡市駿河区	054-282-7971	市川造園株	浜松市南区	053-449-4646
株小林土木緑化	静岡市駿河区	054-264-6499	大村造園建設株	浜松市北区	053-437-1128
株落合造園	静岡市駿河区	054-285-4928	五常園株	浜松市浜北区	053-587-4838
株静岡グリーンサービス	焼津市	054-624-5593	南寿重植木	湖西市	053-579-0736
加藤造園株	焼津市	054-628-3235			

私たちは造園・緑化樹木の整備、育成技術の研鑽に努め、公益法人として、様々な活動を行っています。緑のことお気軽にご相談ください。

- 造園・緑化相談など緑への理解を深め親しんでいた活動
- 緑化樹木の整備育成に関する技術研鑽と技術指導支援活動
- 災害時の応急復興活動・東日本大震災では震災直後に大樹町での瓦礫処理活動を実施
- 高齢者就労者のための技術講習活動や高校生、大学生のインターンシップ受け入れ
- 環境や自然、樹木に関する調査活動や静岡県景観整備機構として景観形成活動

公益社団法人静岡県造園緑化協会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

TEL 054-253-0586 Fax 054-251-9205 URL <http://www.midorinotakara.org/>

平成31年1月発行

編集 啓発労働委員会
題字 兼松文男氏



公益社団法人 静岡県造園緑化協会は、この「ふじのくに森の町内会」の紙を使うことにより、林地に捨てられる間伐材を資源として活用し、静岡県の豊かな森づくりをサポートしています。